平成24年10月 1日
第 65 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

凄いね大型コンバインの稲刈り



杉山さんの説明を聞く上郷小学校２年生、「しっかり勉強して、しっかり食べてください」

9月24日、上郷小学校2年生77人が稲刈りの見学に来てくれました。6月に植えられた小さな稲が、こんなに立派に育っているのを見て。みんなびっくりです。

この日も3台の大型コンバインが稼働していました。オペレータの一人杉山さんが、児童に説明をしてくれました。このコンバインがどれだけ大きな力を持っているか、安全に操作するにはどんな点に注意をしているか分かりやすく話しました。またこれだけ一生懸命作ったお米だから、しっかり食べてほしいと伝えました。

児童のみんなは、話を聴いてそれぞれメモを取ったり、コンバインの絵をかいたりしていました。

稲を刈りとり、穂先の籾を取り出し、最後に稲わらを裁断して、排出する一連の動作に興味深々の様子でした。

刈り残された稲穂をみんなで観察しました。収穫した籾がお米になるには、もう少し作業が必要なことも分かりました。

八方原農地には「こしひかり」「ひとめぼれ」「日本晴れ」の三品種が栽培されています。それぞれ収穫時期がずれていますので、9月中旬から約3週間収穫作業が続きます。期間中は市道を通行する車両などに、ご迷惑をかけることがあるかも知れませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

「きれいになったね」市道清掃

老人クラブは全国的な社会奉仕作業の日を定め、一斉の作業を行います。八方原老人クラブは9月20日、指導の清掃を30人が参加して行いました。

事前に除草剤の散布を行ウなど」周到な計画で行い、安全と効率化を図るために作業を班分けの分担しています。作業は綿密で、道路は瞬くうちに草一本、ごみ一つ落ちていない状態になりました。

集まった枯草やがれきは、全てトラックで運搬処理。老人クラブのメンバーの方、ご苦労様でした。



老人クラブ社会奉仕作業の幟旗を立てて

この通信は http://www.harataco.org/sigeki/ で読むことができます

見せた「八方原」のチームパワー



決勝戦を終えて全員で記念撮影。破顔一笑、疲れも吹き飛ぶ

平成24年度小郡地域ソフトボール大会と女子インディアカ大会が9月23日に行われました。八方原チームは男子のソフトボール大会のみの参加となりましたが、Aブロックで優勝を飾り、この大会二連覇を果たしました。

抽選の関係で八方原チームは二回戦からの出場でした。初戦の相手は「柏崎新開チーム」でした。何ども対戦した相手ですが、強豪です。案の定試合は接戦となりました。

一点リードで迎えた最終回、柏崎も必死の反撃に出ました。結局2点を入れられ、1点リードされたまま最終回の攻撃になりました。

ここで負けたら市の大会への出場権は夢となります。必死の思いが1点をもぎ取り、2アウトながら3塁2塁に走者を置いての攻撃となりました。ここで相手チームがバッテリーエラー。投球が捕手のミットすり抜けてバックネットに。それを見た3塁走者の廣澤選手は、猛然とホームベースに滑り込みました。「セーフ」審判のコールとともにゲームセット。厳しい初戦を勝利しました。

次は決勝戦です。対戦相手は何年か前に大敗したことのある「東津上チーム」ですが、投手はわざとスローピッチでバッターの内気をはぐらかす作戦に出ました。しかし、わが八方原チームはスローピッチをものともせず、どんどん打ち込み、塁上を走り回りました。最終回に東津上チームも3点を取って反撃しましたが、落ち着いて守り切った我がチームが13－7で優勝の栄冠を勝ち取りました。みなさん応援ありがとうございました。

来年の市の大会で雪辱

9月2日には、大内長野運動公園などで市民体育大会が行われました。様々な競技が地域対抗の形で行われます。八方原ソフトボールチームも出場しましたが、初戦の「大殿チーム」に0－14の大敗を喫しました。経験不足からか初戦の緊張からか、まったくいつもの八方原らしさがでないまま、ゲームセット。屈辱でしたが、良い経験になりました。

本年も上記のように地域代表となりましたので、来年に向けて、一層のチーム力アップが必要のようです。

中郷八幡宮の秋例祭

9月15日中郷八幡宮の秋例祭が行われました。秋の大きなお祭りで収穫に感謝する神事のようです。

社の別棟にある倉庫に安置してある3体の神輿が本殿に上がり、飾りつけをした後、御旅所までの御神行が始まりました。

御旅所では神事が行われ、御還行となります。八方原区は班長6人が参加が、それぞれ行列の役目を果たしました。

また例祭に向けて、境内の清掃作業が行われ、八方原上3班が除草作業に当たりました。



△例祭に使われるお神輿
参道の除草作業（9月9日）▽



花壇のお世話ご苦労さまでした

今年の小郡花いっぱい運動コンクールの審査結果が発表になりました。最優秀には八方原6班の花壇「八方原壮年部会」が選ばれました。

当花壇は5年間モデル団体として賞典外となっていましたが、本年度からモデル団体が新町東グリーンサークルが指定されたために、指定席にカムバックとなりました。おめでとうございます。